

吸上センサー NEP-SPS

チップ潤滑剤残量検知システム

吸上センサー『NEP-SPS』は、チップ潤滑装置のペール缶に取り付けられる弊社製潤滑剤吸上パイプに新開発超小型の磁気近接スイッチを内蔵させ、ペール缶内の液残量を検知することを可能とさせるシステムで、吸上センサーとパトライトを具備した制御ボックスより成り立ちます。

本システムの採用によって潤滑剤の交換時期を容易に知ることが出来、潤滑剤切れによるチップ・スリーブのカジリの防止を可能にしました。

特徴

- ・ **取付が簡単!** 従来の吸上パイプの改良型である為、パイプの交換と制御盤の電源（100V AC）を接続するだけ。
- ・ **油性液も可能!** フロート式センサー採用の為、従来困難であった油性潤滑剤での使用も可能となりました。
(使用潤滑剤は20℃で粘度400cp以下の場合に限る)
- ・ **コンパクト!** センサー本体は検出部を細かい（直径3.5mm）フレキシブルパイプに内蔵した超小型無接点出力磁気近接スイッチを採用の為、場所を取らず従来通りに使用できます。

仕様

センサー本体	電源電圧	DC10～30V
	消費電流	230A 以下
	使用温度範囲	- 10～+60℃ 10～90%RH 氷結結露なき事
	電流容量	100mA MAX
	動作形式	A接点（動作時ON）タイプ
制御ボックス	電源電圧	AC100V